

ごあいさつ 年の瀬も押し迫り、お忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが、体調など崩されてはおられません。歳を重ねるごとに一年が過ぎるのを早いと感じますが、本年も沢山の一期一家のご縁で、お客様それぞれの住まいづくりのストーリーに携わらせていただき、心より感謝申し上げます。新しく迎える年も皆さまにとって素晴らしい年でありますように…。



社長 小倉義春

一期一家 築48年 三原市N様邸 リノベーション 第2回 リノベーション工事

前号でお伝えした、柱がリビングのど真ん中に残ってしまうN様邸。柱を撤去したいが、そうすると屋根の強度に問題が出る! さあ! 小倉センムはいったいどうするのか…??

前号 このままじゃ、この柱が新しいリビングのど真ん中に来てしまうッ! (大汗) は、柱かあ…

ドン!

グーン…(〜)でも今回は構造上柱は撤去できんし。

どうするセンム?!

こまったのお…どうしよう…

構造計算してみると、1メートルなら、柱を窓側に移動可能なことが判明ッ!

グッドなアイデアじゃ!

そこで!! 柱の移動作戦ッ!

屋根の強度は保ちつつ、柱を窓側に1メートル移動させることに成功!

元の柱位置

柱を移設するなら、この際、新しい柱にしましょう(^.^) 柱材は「杉」や「桧」が一般的ですが、今回は珍しい個性的な「槐(えんじゅ)」を使います。

ココで、小倉'sポイント!

柱の位置を少しずらす事によって、その柱を利用したカウンター等を造り、パソコンコーナーや読書スペースに出来るんです。今回は構造的に柱を撤去しない方が良いのでこの方法をご提案しました。

するとお施主様が「だったらカウンターを、こんなイメージで造ってもらえんかな〜??」と素敵なデッサンを描いてきてくださいました。

でも、ちょっと待って〜!!

教えてーおじいちゃん!!

「槐(えんじゅ)の木ってどんな木?」の巻

槐(えんじゅ)の木言うたらの一、昔から魔除け、長寿、安産、幸せになる木として、床柱などに、よく使ったんじゃ。今じゃほとんど使わんが、白と黒の2色の木目がある、珍しい木なんじゃ。

そこで!! 小倉建設の倉庫で出番を待っていた木材をカウンターに使用します!

こちらがその木材

10年以上出番を待っていた木材達…コレは前社長が製材したモノなんです。乾燥具合も最高の状態!!

時を経て黒く変色していた木材も、熟練大工が磨くと、しっとりとした美しい茶色の木目が現れてきました!!

「おお〜! エエ感じに出来よな〜!!」とお施主様(左)と談笑中。ちなみにコチラの木は「ケヤキ」です。

槐(えんじゅ)の柱と、手造りカウンターのコラボレーションがコチラ!!

BEFORE

元の柱の位置

BEFOREと同じ角度から撮影

AFTER

Point!

お子さんが帰省されても、狭く、風間でも電気をつけていた食卓。いつも不便を感じておられたようです。

テレビの真正面にあったはずの「柱」。横に動かすだけでも新しい空間が生まれます。たとえ「柱」があっても、敢えて活かす方法を考えるのも楽しいですよ。ちょっとしたカウンターバーとして、また読書コーナーとしても素敵な時間を過ごせます。

オグ様の主婦目線 仕上がりチェック!

うんうん! 柱と床の色があってるし、深い色合いで落ち着くね。これならN様に満足していただけるはず!!



広々と使えるようになった16帖のLDK。以前は8帖の台所と食卓が横並びでした。



今回リノベーション工事を依頼されたNさま夫妻。社長と主人が同級生で、大工さんの技術も高いと聞き安心してお願い出来ると思い依頼しました。床もボロボロ、柱はどうなるの? そして見積り以内で出来るか不安もありましたが、皆さん明るくて丁寧に仕事をしていただき、特にカウンターでは私たちの遊び心を取り入れて下さり快適な生活を送っています。子供たちが帰ってきて喜んでくれて嬉しいです。社長さんはじめ職人さん全ての技術には特に感心させられました。お世話になりました。

大工さん手造りも良いけど、コチラは老舗の家具屋さんですよ!

今月号の「住まいるレター」には、ニュースレターと一緒に発行している井口家具様のチラシも同封しています。お得な情報ですのでご興味のある方は、ぜひお読みください。

一級建築設計事務所

OGURA (有) 小倉建設

〒729-1405 広島県三原市大和町上徳良 4015

TEL: 0847-33-1566 FAX: 0847-33-1588 E-mail: ogu-ogu@mail.mcat.ne.jp

ブログ 更新中!

三原市 3代目専務 検索

ホームページはこちら!

三原市 小倉建設 検索